

平成 26 年度事業報告書

(平成 26 年 4 月 1 日から 平成 27 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人しょうがい生活支援の会すみか

1. 事業実施の方針

「障がいの有無を問わず誰もが自己実現できる社会づくり」「24 時間 365 日このまちで安心して暮らせるシステムづくり」という本法人のミッションに基づき、引き続き事業を展開した。

年度当初に掲げた組織体制の整備について、掲げた 3 項目に対する取り組みは以下の通りである。

①組織運営の基盤となる理事会・事務局の強化

理事会を計画するも出席する理事が半数に満たず、後日メールでの協議や情報共有にならざるをえない回が多かったことが最大の反省となった。日程調整と共に、Skype などオンラインでの参加も含めた実施の在り方について検討が必要である。

また、事務局についても、事業拡大に伴った機能強化に到らなかったことが課題として残った。

②児童福祉法に基づく児童通所支援（児童発達支援、放課後等デイサービス）運営の安定化と、障害者総合支援法に基づく生活介護事業立ち上げの準備

平成 26 年 4 月より開所したさんかくは、放課後等デイサービスの利用については堅調に推移した。特に長期休暇においては多くの利用をいただくことができた。

一方で、児童発達支援は利用が伸び悩んだ。支援の質を向上すると共に広報に努めることが今後の課題である。

③効率的な事業運営を目指した継続事業の再編及び集約

常勤スタッフを増員し、役割分担を緩やかに移行中である。その結果、新しい担当者によって参加者が増えるなど、活性化する効果が得られた。

他方で、会として発足以来力を入れてきた一般向け福祉啓発事業について取り組みが弱まっており、社会へ向けての発信力が低下している。これまでの先駆的取り組みが組織の信頼に繋がってきたこともあり、次年度以降の実施が必要である。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

上記の事業実施の方針を具現化するため、以下の事業を行った。

①障がい児・者の休日支援事業

支出見込額 8,450 千円

A. 中原特別支援学校放課後児童健全育成事業（委託事業：みやき町）

障がいのある児童がリラックスして楽しめる環境を提供し、就学時間終了後及び長期休暇期間中に安全且つ安心して過ごせる場となるよう目指した。

実施日：月～金曜 14:00～18:00

土曜・長期休暇中 9:00～17:00（8:30～18:00 の延長あり）

実施場所：中原特別支援学校多目的室

スタッフ数：1日当たり6名

対象者：中原特別支援学校に在籍する児童・生徒

対象人数：（延べ）2,783名

B. 障がい当事者と家族の余暇支援プログラム

（補助事業：佐賀県地域福祉振興基金）

障がいの種別を問わない多様な障がい当事者及び家族が集い、屋内外で楽しめるプログラムによって、仕事や学校などの日常とは違うホッとできる時間づくりを行った。

実施日：動作法10日、外出活動6日

実施場所：さんかく（動作法）、テーマパーク等（外出活動）

スタッフ数：（延べ）講師12名、ボランティア104名、事務局25名

対象者：障がいのある人及び家族

対象人数：（延べ）利用者105名、保護者・家族35名

②障がい者の就労に関する事業

支出見込額 960 千円

リサイクルショップくるり

寄せられた不用品や作業所等で作られた野菜等の商品販売等を通して、障がいのある人の社会参加の促進を目指した。

実施日：6月、11月、2月

実施場所：踊り座舞工房、ふれあい広場、旭地区文化祭

スタッフ数：（通年）事務局2名

対象者：（延べ）障がいのある人や関係者30人

③福祉に関する相談支援事業

支出見込額 37 千円

コミュニティサロン

障がいの有無にかかわらず様々な人が集える居場所づくりを行った。その中で見いだされた問題・課題に関しては、ピア・サポートを中心とした対応を行った。

実施日：毎月第2水曜日 10:00～15:00

実施場所：事務所

スタッフ数：(通年) ボランティア2名、事務局2名

対象者：(延べ) 一般市民161名

④障がい児のきょうだい支援事業

実施なし

⑤健康増進事業

支出見込額 922 千円

こころとからだの健康教室ほっと

腰痛・肩こり・不眠などでお困りの方に動作法を行い、リラックスしていただいた。

実施日：月曜～金曜 9:00～18:00

実施場所：事務所、など

スタッフ数：(通年) トレーナー1名、事務局1名

対象者：一般市民

対象人数：(延べ) 167名

⑥福祉啓発事業

支出見込額 305 千円

A. 障がいに関する啓発事業（委託事業：鳥栖市）

障がいのある人への理解を促進するため、出前講座での啓発活動を行った。

実施日、場所：

2014/10/14 鳥栖小学校（5年生）【障がいて何だろう!?!】

2014/11/20 麓まちづくり推進センター・ふるさと学級

【『障がい』って何だろう?～誰もが暮らしやすいまちづくり～】

2014/12/10 鳥栖西中学校人権集会【障がいて何だろう!?!】

2014/12/20 鳥栖市手をつなぐ育成会研修会

【地域における福祉サービス】

スタッフ数：(通年) 1名

対象者：一般市民

対象人数：(延べ) 1,000名

B. エンパワーメントセミナー事業（委託事業：鳥栖市）

障がい当事者がそれぞれの立場や団体の利害関係を超えて集える場所『ほっとスペース』を開催し、楽しい時間を過ごしたり、悩みを共有したり、情報交換できる場所とした。

実施日：平成26年5月～平成27年2月（10回）

実施場所：鳥栖市社会福祉会館

スタッフ数：(延べ) 講師25名、ボランティア12名、事務局19名

対象者：(延べ) ぴあCAFE46名、おやCAFE51名、あなたの相談室17名
つどいの広場（保育）15名

C. 研修・交流事業

テーマや対象者に合わせた研修会や出張講演・交流事業を行い、障がい福祉に関する理解を深めた。

実施日、場所：

2014/05/01 佐賀県立三養基高等学校開校記念日 記念講演

【皆さんと考える「障がい」と「生涯」のこと】

2014/05/16 平成26年度社会人権・同和教育指導者養成講座

【障がいて何だろう!?!～誰もが自分らしく暮らせる社会～】

2014/05/16 第九回地域活動講演会

【生きているということ～「障がい」と「地域」と「わたし」～】

2014/07/17 中村学園大学（肢体不自由児者の指導の理論と実際）

【障がいて何だろう!?!～主に肢体不自由について～】

2014/10/02 みやき町町民協働による子育て支援推進事業

【誤解されやすい子どもたちと地域～障がいて何だろう!?!～】

2014/11/30 多良中学校人権集会【障がいて何だろう!?!】

2014/12/03 東脊振小学校人権集会【障がいて何だろう!?!】

2015/01/17 第64期くらしと福祉の学級 家族支援を考える

【本人も家族もみんなが幸せになるために…考えたい“自立”のカタチ】

2015/03/11 福岡県地域福祉活動職員連絡会研修事業

「住民主体を改めて考える研修会」

【当事者同士の交流から生まれたもの～自信と自立と自分らしさ～】

スタッフ数：(通年) 1名

対象者：(延べ) 会員、福祉関係者、一般市民、等 1,500名

D. 市民協働事業

当法人のミッション達成にも通じる活動を行う市民活動団体と協働しての事業を行う。

ア. 幸せの黄色いレシートキャンペーン※さんかく名義で

(イオン上峰ショッピングセンターに参加)

イ. 鳥栖・三養基地域自立支援協議会(構成団体として)

ウ. 鳥栖市障害者理解促進事業(芹田：委員として)

エ. 鳥栖みらい会議(芹田：委員として)

オ. ふれあいスクール(芹田：校長として)

カ. 鳥栖市市民活動支援補助事業検討懇話会(芹田：委員として)

キ. 鳥栖・三養基地区夏休み教室実行委員会(芹田：実行委員長として)

⑦ 障がい児・者を取り巻く福祉・教育・就労等に関する調査・研究事業

支出見込額 913 千円

鳥栖市障害者理解基礎調査

鳥栖市障害福祉計画の基礎データとするため、障害者とその生活に関する関心度調査を行った。

実施日：7～10月

実施場所：鳥栖市内

スタッフ数：事務局3名

対象者：鳥栖市在住の20才以上の方

対象人数：2,000名(無作為抽出)

⑧児童福祉法に基づく事業

支出見込額 12,040 千円

多機能型事業所さんかく

障がいのある子ども達の健やかな成長を支援するために、児童発達支援及び放課後等デイサービス事業を行った。

実施日：児童発達支援 月曜～金曜 9:00～14:00

放課後等デイサービス 月曜～金曜 14:00～17:00※延長 18:00

土曜 9:00～17:00(9:00～13:00、13:00～17:00の2部制)

長期休暇 9:00～17:00※延長 8:30～18:00

実施場所：さんかく（みやき町白壁）

スタッフ数：1日当たり3名以上

対象者：児童発達支援・未就学の児童

放課後等デイサービス・就学期の児童

対象人数：(延べ) 1,478名

⑨障害者総合支援法に基づく事業

実施なし

(2)その他の事業

特定非営利にかかる事業を滞りなく実施するため、以下の事業によって収入の確保に努めた。

①自動販売機設置事業

支出見込額 176 千円

本法人を支援する個人宅や企業内に自動販売機を設置し、特定非営利活動に係る事業を資金的に補填する。また、設置に際しては販売機にその設置趣旨を明記し、啓発広報にも活用した。

実施日：通年

実施場所：本法人を支援する個人宅や企業内

スタッフ数：(通年) 2名